公募テーマの詳細

公募テーマ11

公募テーマ	天井裏等の隠れた部分の施工状況確認ツールに関する情報
現状・背景	予防上の検査において、現状は検査員が脚立等の上に立ち、点検口をのぞき込み、ライトで照らして施工状況や設置状況を確認している。そのため、点検口の位置によっては、障害物により確認が困難な状況や足元が見えない状況にあり、危険性を伴う作業となっている。
実現したい将来像	・検査員によって確認出来ない検査を無くし、検査手法の同一基準化 ・検査時の危険行動を減らし、安全かつ確実な検査手法の確立
想定する技術例	・高所や閉所、天井裏等の隠れた部分を、安全に確認できる技術やツール ・高度な操作技術を要さずに点検を行うことのできるツール ・経験の浅い職員でも扱いやすい、簡易、軽量な点検ツール